



# わかば

学校だより 10月号

令和2年9月30日

柏市立柏第三小学校

校長 大森 千恵子

## 季節の変化を楽しみながら



朝晩めっきり涼しくなり、いよいよ秋本番を迎える頃となりました。欠席が増え心配した学級がありましたが、4連休を経て皆回復し、元気に登校してきました。気温も一気に下がってまいりますので、衣服の調整等気温に合わせた過ごし方について指導してまいります。ご家庭におかれましてもお子様の健康管理にご配慮いただきますようお願いいたします。

今年、台風も大型化の傾向にあり、気象情報をこまめに確認しながら、子どもたちの安全に留意してまいります。急な気候の変動もありますので、置き傘の用意や状況によっては、靴下や着替えの用意もお願いいたします。

### 学校教育目標

人間性豊かで、目標に向かって努力を続ける  
強い心と体力を持った児童の育成

- 1 思いやりと勇気のある子
- 2 意欲と習慣のある学び続ける子
- 3 運動を楽しみ、体をきたえる子
- 4 力を合わせ、よく働く子

### 生活目標

【年間目標】「教室に もどる前に 手洗いうがい」

【10月の目標】「めざせ60冊 読書で かしこい子になろう」

## 10月の行事予定



- 1日 (木) 全校朝会 6年修学旅行説明会 委員会活動④
- 2日 (金) 尿検査 (一次) 予備日
- 5日 (月) 進度調整日 (~6日) 5時間授業・給食あり 下校13:10
- 8日 (木) わかばパトロール 眼科検診 (体育館10:00) 4年下水道出張授業 ステップアップ学習会 (2年希望者)
- 12日 (月) 内科検診 (5年)
- 13日 (火) 登校指導 クラブ活動②
- 14日 (水) 内科検診 (6年)
- 15日 (木) 1年心臓検診 尿検査 (二次) ステップアップ学習会 (2年希望者)
- 16日 (金) 通知表配付日
- 19日 (月) IT 授業 (1年)
- 20日 (火) 5年校外学習 (清水公園)
- 22日 (木) ステップアップ学習会 (2年希望者)
- 23日 (金) 1年校外学習 (アンデルセン公園)
- 26日 (月) 3年校外学習 (鉄道博物館)
- 27日 (火) 尿検査 (二次) 予備
- 29日 (木) ステップアップ学習会 (2年希望者)



### 11月の主な行事予定

- 2日 (月) 全校朝会
- 3日 (火) 文化の日
- 4日 (水) 内科検診 (1年)
- 7日 (土) 6年校外学習 (日光)
- 9日 (月) 6年振替休業日
- 10日 (火) 委員会活動
- 12日 (木) わかばパトロール
- 16日 (月) 通知票配付 内科検診 (2年)
- 17日 (火) クラブ活動③
- 19日 (木) 2年校外学習 (アンデルセン公園)
- 23日 (月) 勤労感謝の日
- 24日 (火) クラブ活動④
- 26日 (木) 就学時健康診断  
特別日課: 4時間授業・給食あり 下校12:30



## 子どもたちの世界～子ども同士のつながり～

SNS やインターネットの急速な普及により、子どもたちの世界は、私たちが子どもの頃には想像もできなかったほど広がりを見せています。また、新型コロナウイルス感染症の影響で、外出が思うようにできないこともあり、ネットに接続する時間も増えているようです。

「シルバーウィークに、一日4時間から5時間ゲームをやっていた児童がいて心配になりました。」と話している先生がいました。長時間のゲームは、心と体の健康にとって、医学的にかなり気を付けなければならない影響があることが分かっています。(長岡赤十字病院小児科部長 田中 篤)

ご家庭でお子さんとはよく話し合っ、ゲームやスマホをやるときのルールを決めておくことが必要だと思います。また、ゲームの課金・ライン等 SNS でのいじめなど、大人が気付かないところでトラブルが起きていることもあります。子どもたちの世界が見えなくなってきているだけに、今、誰とどのような遊びをしているか、把握することも必要だと思います。ご家庭での会話の中で是非話題にしてみてください。



## 持久走について



持久走大会ですが、新型コロナウイルス感染症の終息がまだみえないこと、またインフルエンザの流行も併せて危惧されていることから、今年度については、実施を見合わせることにしました。しかし、体育の学習のなかで、持久力を高めることや自己の記録の向上に向け粘り強く取り組む力を養うことは、重要なねらいとなっています。そこで、体育の時間のなかで、自己の記録の更新をめざし、持久走を実施してまいります。詳細が決まり次第お手紙にてお知らせいたします。

## 「和顔愛語」の気持ちを持って

2学期がスタートし約1ヶ月が経ちました。学習内容については、日課や行事の見直し、ご家庭での家庭学習への取組の御協力により、ほぼ例年と同じ進度まで回復してきました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大に対する不安を抱えながらの日々は、まだ続いています。

私たち大人の多くは、不安やストレスと付き合う術をもっていますが、子どもはまだ、そのような術をもっていません。子どもたちの不安を少しでも和らげ、日々の生活の中で楽しさや喜びを見いだせるようにするためには、まずは「和顔愛語」の気持ちで、子どもをまるごと受け止めてあげることだと思います。「和顔愛語」とは仏教用語で温和な顔とやさしい言葉遣いという意味があります。

じっくり話を聴いて子どもの心の声を聴き取り、笑顔で接しながら、「わたしは、あなたの味方だよ」「いつでもそばにいるよ」など、多くの温かい言葉を語りかけていきたいと思っています。子どもたちの言葉ではうまく表現できない不安やストレスをキャッチしながら、一人一人の子どもの学びを大切に、丁寧な指導を心がけてまいります。

